

会 議 録

1	会議名称	令和6年度宝達志水町行財政改革審議会
2	日 時	令和6年7月22日（月）午前10時から午前11時30分まで
3	場 所	宝達志水町役場 2階 大集会室
4	出席委員	市村昭代史会長、上野浩幸会長職務代理者、諸田利信委員、西かおり委員、山口学委員、杉中由美子委員、津田栄委員、近岡宏介委員 （欠席：太田永作委員）
5	事 務 局	寶達町長、松榮副町長、細江教育長、金田総務課長、安達財政課長、坂井企画情報課長、守田商工観光課長、村上税務住民課長、藤井危機管理監兼環境安全課長、山本 _重 健康福祉課長、中川子育て応援室長、松坂健康づくり推進室長、秋田農林水産課長、杉谷克地域整備課長、山本 _昭 会計課長、松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長、杉谷靖学校教育課担当課長、宮本生涯学習課長、松田病院事務局長、浜坂議会事務局長、長谷川総務課長補佐、燕財政課長補佐、吉村総務課主幹
6	議 題	1 第4次行財政改革大綱について 2 第4次行財政改革大綱実施計画進行管理表について 3 その他
7	議 事	＜開会＞ ＜町長あいさつ＞ 町長 現在、町では能登半島地震の復旧復興を第一に対応を進めているところである。発災後、緊急的な安全の確保や物資の供給、各種生活再建支援や公費解体、住居の確保・提供、インフラの対応など段階を踏んで進めているところである。大変大きな震災で、対応に多くの労力が長い期間に渡って必要になってくる。数年前の新型コロナや今回の震災のような、平時では考えられない大きな変化がある中で、そういった事業にマンパワーなど様々な資源をさかななければならない状況が続いている。 一方で、これまでしっかりと進めてきた行財政改革についても重要なことである。これらの大きな変化のほか、町における人口の変化や様々な状況の変化に対応するべくこれらの事業を推進していくとともに、メリハリをもって対応していかなければならない。安全の確保や福祉の増進、これからの若い方に夢や意欲、活力を持ってもらえる町であるための施策をメリハリをつけて取り組んでいくために、皆さまにはぜひご意見をいただきたい。今後も様々な変化に対応できるよう、また大きな流れの中刻々と変わっていく町を取り巻く状況をしっかりと捉えつつ、変化に対応できる行政であること、未来の発展を願って我々は意思意欲を持って仕事をしていかなければならない。町民を代表する皆さま方の忌憚のないご意見をいただき、今後も行財政改革をしっかりと取り組んでいかなければならない。 財政的なこともあるが、今後は人材の確保も大きな課題となっており、よ

	り厳しい状況にあり、しっかりと取り組んでいきたい。今後ともご指導ご協力賜りたい。
会長	<会長あいさつ> 昨年に引き続き会長を務めさせていただく。どうぞよろしくお願い申し上げます。 元日の能登半島地震により、本町においても今後、復旧・復興に多額の財政需要を要し、財政状況はさらに厳しくなることが予想される。復旧・復興を最優先にしながら、柔軟な行財政運営を進める必要があるが、これからの財政需要に対応していくためには、しっかりとした財政基盤が必要であり、そのためにも、この行財政改革の取組がさらに重要になってくる。 委員各位におかれましては、より良い行財政運営のために忌憚のないご意見・ご提案をお願いする。
委員	<議件に対する主な意見> 財政の状況が計画から大きく変わっている。何がどう変わったのか文書にして配ってほしかった。口頭で今言われてもわからない。この資料は数字だけで解説がない。ここがこう変わってこうなったというような資料の丁寧な解説がほしかった。
事務局	おっしゃるとおり、数字だけの資料、口頭説明で申し訳ない。次回からは分析や状況がわかるような内容を加えた資料を準備する。
委員 事務局	合併振興基金は何に使ってどれだけ残っているか。 R5年度末残高は3億7千7百万円余りとなっている。使い道は、合併当初の新町建設計画にあげている事業に使用でき、直近では保育所や町営住宅の整備事業に充当している。各種事業に必要なときに充てている。
委員 事務局	各種事業というが、建物以外でもいろいろなことに使えないのか。例えば、今回のような震災のときに生活困窮の方には使えないのか。 生活困窮の方には扶助費や国からの交付金をまず使っていく。地震の関係では今年度能登半島地震復興基金を設立し、ふるさと納税や災害支援金を1億円余り積み立てた。今後検討して使っていく。
委員 事務局 委員	合併振興基金はR5年度にいくら使ったのか。 R5年度は約2,300万円余り充てている。 財政収支見通しだが、R1、R2年度はほぼ計画通りだが、R3年度以降は変わっていつている。新型コロナの関係もあると思うが。地方債残高は今後の計画ではほぼ減らずに横ばいになっている。震災や小学校統合事業に使われていると思うが、その説明をお願いしたい。
事務局	実質公債費比率が計画よりぐっと下がっているのは何が原因なのか。また将来負担比率も半減している。この説明もお願いしたい。 計画より財政数値は改善していると思うが、県内では6位のままである。うちの町も努力しているが他の町も努力しているということなのか。 実質公債費比率、将来負担比率については、起債残高を減らすため繰上償

	還を行ってきている。起債をできるだけ早く返して他へお金をまわしていく。数値が減っているのは繰上償還が大きい要因と考えている。他の市町との比較だが、どこの市町も同様に行財政改革を進めているので横ばいになっていると思っている。地方債残高は、繰上償還により減りつつあったが、統合小学校の改修事業や震災関係事業が増えていくので、数値も上がらざるを得ないと考えている。
委員	地方債残高はＲ７以降も減らしていく方向か。何かというと今年から来年にかけて金利が上がってくる中で町債についてはどう考えているか。
事務局	Ｒ７以降の計画はまだないが、広域圏事務組合のごみ焼却場建設など数十億円単位の事業がある。借り入れについては、過疎債などを充てることを考えている。
委員	将来負担率がＲ５の１３．５％からＲ６推計４３．２％、Ｒ７推計４８．５％になるということは、県内順位も落ちると考えていいか。
事務局	Ｒ６、７年度はそういう可能性もある。
委員	より一層行財政改革を進めないと、元に戻れなくなることも考えられる。今の状況のまま進めると元の本阿弥になる可能性がある。一層進めないとまずいと思う。
委員	４年前にマイナポイントを付与してマイナンバーカードの普及を図っていたが、電子証明は５年に１回の更新だったと思うが、このまま行くと再来再来年度に更新しないとイケない。役場窓口に来ないとできないと思うがその対応は考えているのか。
事務局	マイナンバーカードの対応については、現在会計任用職員を２名配置し対応している。引き続き２名を配置し対応していきたい。
委員	電子証明の更新をしないと保険証として使えなくなるなど、いろいろな不便が起こると思うので円滑な対応お願いしたい。
委員	震災の影響による町の世帯数と人口の推移はどうなっているか。
事務局	震災による大きな減少は見られない。
委員	町の負債は大きく改善していて評価したい。今後の将来的な人口減少を危惧している。少子化対策や定住対策がより一層必要になってくる。空き家バンクや宝のすまい応援事業など、計画はＲ３からＲ７年の５年間ということで目標の変更がなかなかできないのかもしれないが、数値的な目標を大きくして、将来の宝達志水町を負担の少ない健全な町にしてほしい。優先度を決めて取り組んでほしい。
委員	職員の時間外勤務の削減だが、達成率が０％になっているが人員が足りていないのか、この取組について教えてほしい。
	中途退職者や病気休暇の方がいると思うが、ストレスチェックのほかに職員の健康診断は十分にされているか。
事務局	時間外は増えていっている。職員は足りていない。地方分権で市町村に仕事の下りてきているが、合併して両町の職員が合わさっていたのでどんどん削減しようということで、合併後５年間は職員を一人も採用していない。全国的な傾向で職員を減らしすぎて足りていない状況にある。本町も変わらずそ

	のような状況であり、時間外で業務を支えている。特に年度末、今年度に入 って家庭の都合で5人が辞めた。病気休暇で休んでいる職員もいる。今年度 は震災対応で必要なところに多くの人を配置していたりして、その他の課は 通常より少ない人員でやりくりをしている。それで来年4月まで待てないとい うことで10月採用を合併後初めて決行することにした。少しでも優秀な人 員がいれば4月を待たずして10月から採用して何とか今年度を乗り切ってい きたい。定員については定員適正化計画というものがあって勝手に増やした り減らしたりできないが、増やせる範囲で目一杯職員を採用し十分な住民サ ービスに対応していきたい。職員健診については、全職員ほぼ100%受診して いる。個々で人間ドックを受けられる制度もあり結果を提出してもらっている。 全員の健康状態を把握している。
委員	民生児童委員代表としてお願いする。震災時に民生児童委員を動かすときは 町の一職員からではなくトップから私の方に依頼してほしい。そのルートは しっかりしてほしい。 また、民生児童委員のなり手がいない。民生児童委員も公務員で町民の生活 を守るのは町職員と同じである。なり手不足問題は部署が違えば全然関係 ない話と考えている人がいるのではないかと。一緒に考えていかなければなら ない。職員が民生児童委員になってはいけないということはない。職員もや らなければならない時代がくるかもしれない。区長イコール民生児童委員と いう形にもしていかなければならなくなる。お金の話になるが民生児童委員 の活動費は1日160円である。365日毎日赤ちゃんからお年寄りまで見守って いる。民生児童委員対策、なり手不足問題をみなさんの心の中にとめていた だきたい。なり手がいなかったら自分がやらないといけないうという覚悟を持 ってほしい。それと民生児童委員の活動費アップもお願いしたい。みなさん 方の応援と協力をお願いしたい。改選の時に選任を速やかにいくようにいい 方法がないかと一緒に考えてほしい。
事務局	震災時における民生児童協議会の連絡体制がスムーズにできなかったこと については本当に申し訳なく思っている。緊急時ということでご容赦いただ きたい。一方で、民生児童委員の方々には臨機応変に動いていただき感謝し ている。段取りよく手続を踏んでほしいということとはご指摘の通りである。2 度とないようにしたいが万が一の際は会長さんの指導のもと臨機応変に対応 いただきたい。
委員	民生児童委員のなり手不足については、10年20年来の問題である。以前に 担当課長であった時も、その選考に大変ご苦労いただいた。大変な職務であ る。自分がやらなくちゃと思ってやっていたが、最近はそのあたりはドライに なってきた。全国的にもなり手不足である。県へ要望をあげて対応してい きたい。
事務局	区長会で自治会サポの視察研修に福井県坂井市に行く。このデジタル化を したら回覧板や広報と比較してどれぐらい経費が削減されるか。 自治会サポを導入することにより、区内の住民に情報が素早く伝わる。初 期導入経費は、国のデジタル交付金を活用するのでかからない。維持費につ

委員 事務局	いては、区長会費の経費で賄うことを提案している。そうなれば区の負担はないと考えている。他の区長と協議して決めていきたい。 通信費等は削減されるか。 個々の携帯電話の通信費はかかるが、アプリの経費は区長会の経費でやりくりできる。
委員 事務局	健康づくり推進員の今年度の活動費が大変使いづらいものになって、推進員の中から、「私たちは必要とされていないのではないか」という意見まで出た。そんな中で室長にがんばってもらって、行政としての使い方ができる方法を考えてくれた。財政が厳しいのはわかるが今まで使えていた予算を急激に削減されると、私たちの活動は必要ないのではないかとやる気なくなる。 今年度の予算は使いにくい内容になってしまった。来年度は一般会計の中で賄えるように使いやすいものにしたい。
会長 事務局	現在地域おこし協力隊の方が町に8名来られている。任期の3年が終了して当町に残って活動したいという方への場所の提供が大事になってくる。町としては地震があって空き家についてはそちらを優先しているかもしれないが、しっかり対応してもらわないと、せっかくそういう思いがあっても町に残れなくなる。この点についてどういうふうに考えているか。
会長 委員 事務局	今現在は地震対応で行っていないが、震災前は地域おこし隊員と企画情報課職員が月に1度定期的に話し合いを行っていた。その中で日々の活動状況や任期終了後の話もしていた。任期終了後定住してもらえれば、起業化に向けての補助金の情報提供や住まいのサポートなど積極的に行っていきたい。 ぜひ具体的にお願いしたい。 ふるさと納税に政府の規制が入るが、予定通り10億円集まるのか。
委員 事務局 委員 事務局	総務省からルールの見直しがあった。仲介サイトを利用した際のポイント付与に制限をかけるというもので、総務省は来年の10月からの見直しを予定している。現時点では厳しくなると感じている。あと1年と少しだが、情報収集や国の動向を見極めながら、委託業者や事業者と対応策を考えていきたい。 ふるさと納税は6月現在でいくらぐらい集まっているのか。 R6年度の4～6月の3か月分で、対前年度比2.4倍に増えている。 10億円は軽く超える可能性が高いと見ていいか。 震災復興関係で若干伸びるかもしれない。今年度はキープできればと思っている。
委員 事務局 委員	コンビニ交付の普及促進について、コンビニ交付率が31.1%に伸びたが、逆に窓口の交付件数はどれだけ減ったのか。窓口の件数が減っているのであればそちらの人員を他部署に動かして効率的にすることができると思う。 コンビニ交付の件数が増えた分、窓口の件数は減っている。 数字を出さないとマイナンバーカードを使うことが効率的だとわからない。行財政改革というのは効率化を図るということで、数字が見えていないと効率化されているとわからない。そこを見せてもらわないと。次回窓口の件数がどれだけ減ったのか確認しておいてほしい。

会長 委員 事務局 委員 事務局 会長 委員 事務局 委員 事務局 会長 事務局	来年度はしっかり数字をつかんでおいてほしい。 全体的に金額ベースで効率化されていることを表せないか。 以前からもそのように言われていたかと思う。数値化できるものについては資料No.2-2で表しているが、金額で表しきれない目標もある。金額で計れるものだけが行財政改革ではなく、金額で表せないものも含まれている。次の行財政改革に向けてできる範囲で数値化していく。 滞納整理で徴収した金額がわかるので、これは数字で出せるのではないか。 出すことができるが今回は徴収率を目標としてあげているので今後見直しを図っていきたい。 せっきくの機会なので、その他の意見があればお願いしたい。 ケーブルテレビの行財政改革は完全に終わったのか。 今後の方針の検討ということでは、民間事業者と協議し令和5年度に事業譲渡、令和6年度に光化ということで民営化の方向となった。 その分だけ経費4,000万円は減るということか。 一般会計からの繰り出しは約4,000万円である。その中にはさくらチャンネルの自主放送分として1,000万円がある。さくらチャンネルは継続していく予定だが1,000万円かけるかどうかは今後検討していく。 それでは、以上で本日予定していた議件はすべて終了した。円滑な議事の進行にご協力いただいた。 行財政改革は「入るを量りて出づるを制する」と言われている。いかに収入を増やして、歳出では無駄を省いて効率化を図るというものである。行政側にとっては永遠のテーマである。今後も皆さんの意見をより良い町の発展に反映していきたい。以上をもって行財政改革審議会を終了する。 ＜閉会＞
8 資 料	＜事前配布分＞ No.1 第4次行財政改革大綱 No.2－1 第4次行財政改革大綱実施計画進行管理表 No.2－2 第4次行財政改革大綱/財政効果額集計表（令和3年度～令和7年度） No.3 実質公債費比率と将来負担比率の推移 等